

都市整備

まちづくり条例は市民の住環境を守るものに

津本裕子議員(公明) ①開発により紛争が起きた場合、市が対応するのは開発条例に係る案件に限定されるのか。

②5千平方メートル以下の開発計画の場合も地元説明等をするよう強化できないか。

市長 ①条例に基づかない開発行為や建築行為も市民から相談があった場合は、アドバイザーや適切な行政機関を紹介するなどして対応している。

②本条例に基づいて地区まちづくり計画と地区まちづくりルールを設けた地区では、建築行為等を行う場合に事業主が市に届け出る義務があるほか、地区まちづくり協議会と事業主の協議を求められることから、対応の強化はできると考える。

老人ホームと地元のトラブルについて

川里春治議員(政和) ①老人ホームの現状と今後の考え方は。②鈴木町一丁目建築予定の老人ホームに対する地元住民とのトラブルの内容は。

市長 ①市内には特別養護老人ホームが6施設、介護付き有料老人ホームが5施設ある。地域密着型の小規模な特別養護老人ホーム等の整備は進めているが、介護付き有料老人ホームはある程度確保されているため、新たな整備は見込んでいない。

地との距離等に考え方の違いがあると聞いている。

天神町二丁目大規模マンション工事の現状と交通安全対策は

川里春治議員(政和) ①今後の工事内容と対策は。

②工事車両が通る天神通り北側は通学路と重なり危険である。通学路を変更できないか。

市長 ①整地等の準備工事を終え、今後早い打ち工事等を行う予定である。周辺地域住民と事業者は騒音、振動、工事車両の通行、工事時間等について暫定合意したと聞いている。

教育長 ②迂回できる道路がなく変更は難しい。事業者には工事車両の通行時間帯や誘導等について、配慮して行うよう依頼している。

小平市のまちづくりと交通の安全対策等について

佐藤 充議員(共産) ①交通管理者としての警察と市の責任分担はどうなっているか。市が市民の窓口になるべきでは。

②小川駅南側二通り、青梅街道駅、一橋学園駅の南北、昭和病院付近等の踏切内の歩道は拡張すべきと考えるがどうか。

市長 ①市は道路管理者で警察は交通管理者である。交通管理者が管理する交通規制標識の破損や路面標示の消失等に関する連絡や要望は、随時小平警察署に伝えている。

②青梅街道駅、昭和病院付近の踏切は都の重点踏切であるため、拡張の要望を行っていく。

小平都市計画道路3・3・8号線は計画の見直しを

木村まゆみ議員(共産) ①現道を利用するという見直しを再度求めるがどうか。

②わずかしが離れていないところに大型道路は不要という意見にどうこたえるか。

市長 ①仮に府中街道を拡幅しても、既存の青梅街道交差点のクランクは解消されず、完成区間との連続性からも適切な道路線形とならないことから現計画案が最良であると聞いている。

②国分寺区間の道路と一体となる市内新設道路の整備は必要と考えている。

東京街道の整備事業はなぜ積極的に対応できないのか

宮崎照夫議員(政和) ①これまでの市の対応は。

②市の積極的な対応を望むが見解は。

市長 ①市長会などを通じ、都に都道の拡幅改修や整備事業を促進するよう要望している。

②この事業は新小金井街道交差点付近から大沼保育園通り交差点までを拡幅して歩道を設置するものである。完成後は小平駅北口のまちづくりにつながると認識しており、都にも事業の早期完成を働きかけていく。

にじバスを見直しデマンド型・乗り合いタクシーを運行すべき

立花隆一議員(公明) ①市の公共交通全体の考えは。

②デマンド型乗り合いタクシーをどう研究してきたのか。

ス、コミュニティタクシー等を地域交通全体の中で利用しやすいものとなるよう市内を4地域に分けて整備したい。

②平成19年に茨城県石岡市を視察し、その後も研修会に参加するなど研究している。また、デマンド交通の実施自治体から継続的に情報収集する必要もあると考えている。

小川駅西口地区再開発の進捗状況と周辺のまちづくりについて

佐野郁夫議員(政和) ①駅前地下駐輪場を整備すべきと思うが、見解は。

公共施設

学校体育館、グラウンド、公園等施設使用の問題改善のために

虹川 浩議員(公明) 騒音に関する苦情等により、公益のためにある施設本来の目的がゆがめられている傾向があると思うがどうか。

教育長 利用している側が騒音と感ぜないことも近隣住民には話し合い等により双方の理解を得て学校施設を開放したい。

市長 公園は近隣に迷惑をかけるない範囲でだれもが安全で安心して利用できる憩いの場である。過度のクレーム等で利用に支障を来すことがあれば、近隣住民の理解を得られるよう説明していく。

小平市のトイレを

使いやすいようにしてほしい

津本裕子議員(公明) ①グリーンロード等の周辺の公園のト

②富士見通りと小川西保育園通りとの交差点に横断歩道を設置できないか。

③旧小平養護学校跡地の整備が進まない理由と今後の予定は。

市長 ①準備組合が作成する事業推進計画策定の中で考慮し、関係機関と協議していきたい。

②小平警察署からは新設の予定はないとの回答を得ている。

③土地所有者の都からは、隣にある東京障害者職業能力校の建てかえに伴う利用を計画しているが、国の予算も関係してることから具体的な予定が示せないで聞いている。

④小・中学校のトイレの洋式の現状と改善計画は。

市長 ①小平グリーンロード等の周辺のトイレは、散策や公園のイベントなどで多くの方が利用していることから、今後改修や管理方法、市のイメージアップを含め研究したい。

②設備は要望を踏まえ充実に努める。開催日数は平成23年度は週4日を週5日に拡大する予定である。催しは児童館と連携し、充実を図りたい。

③都営住宅の駐車場の弾力的な運用はできないか。

市長 ①都から行政財産の使用許可を受けて運営している。地域住民への開放は目的外使用となるため困難である。

教育長 ①公民館の駐車場を不

教育長 ②平成22年2月現在、小学校のトイレの総数は97、中学校が43。そのうち洋式化されているのが前者は318、後者が130で、洋式化が進んでいない学校を優先的に改善を図りたい。

③子ども広場の充実も進めてほしい

津本裕子議員(公明) ①日曜日、祭日の開館を望む声が多いが見解は。

②子ども広場の充実は。

市長 ①開館日をふやす場合は指定管理料や光熱水費等の増加が課題となる。今後はオープン

高年齢者や公民館等の駐車場利用について

高藤貴亮議員(フォ) ①年末年始にほのぼのの館、さわやか館駐車場を地域住民が利用することはできないか。公民館駐車場はどうか。

②都営住宅の駐車場の弾力的な運用はできないか。

市長 ①都から行政財産の使用許可を受けて運営している。地域住民への開放は目的外使用となるため困難である。

教育長 ①公民館の駐車場を不

②充実した運営等を図るために村長を置いては。

市長 ①利用件数や人数は年々増加し、多くの市民活動団体やスポーツ団体が利用している。各センターの役割も増しているがまだPRも不足しているため周知に努め、スムーズに利用できるような運営を図りたい。

②基本的には各団体・施設がそれぞれに機能すると思えるが、さらに交流等を進めるための貴重な意見として受けとめたい。

③子ども広場の充実は。

市長 ①開館日をふやす場合は指定管理料や光熱水費等の増加が課題となる。今後はオープン

高年齢者や公民館等の駐車場利用について

高藤貴亮議員(フォ) ①年末年始にほのぼのの館、さわやか館駐車場を地域住民が利用することはできないか。公民館駐車場はどうか。

②都営住宅の駐車場の弾力的な運用はできないか。

市長 ①都から行政財産の使用許可を受けて運営している。地域住民への開放は目的外使用となるため困難である。

教育長 ①公民館の駐車場を不

特定多数の人に貸し出すことは施設管理上の課題もあり、現段階では考えていない。

市長 ②利用用途を駐車場と限定して地域に貸し出している事例はあるが、個別に協議が必要と聞いている。

掲載分以外の質問項目

【行政一般】

再び、職員の能力と組織の機能は100%発揮されているか

【医療・健康】

国保の特定健診の検査項目をふやしてほしい

【児童・女性】

児童クラブは1月4日も開所すべき

【教育・文化】

いじめや不登校を克服し健康やかに育つ環境づくりを進めよう

【福祉】

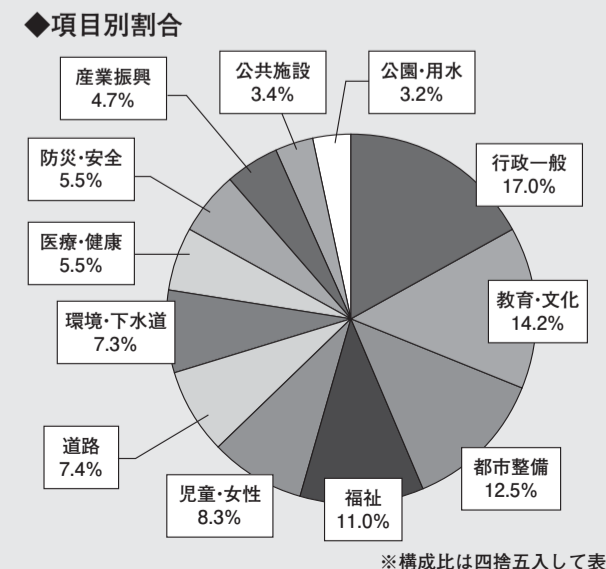
介護保険の改善で高齢者に安心を

一般質問のまとめ

平成19年6月定例会～平成23年3月定例会

◆質問者数・件数			◆項目別件数	
定例会名	質問者数	質問件数	項目	件数
19年6月	24	65	行政一般	168
19年9月	24	64	教育・文化	140
19年12月	24	70	都市整備	124
20年3月	23	65	福祉	109
20年6月	23	64	児童・女性	82
20年9月	23	59	道路	73
20年12月	24	62	環境・下水道*	72
21年3月	23	57	医療・健康	54
21年6月	23	58	防災・安全	54
21年9月	23	57	産業振興	46
21年12月	23	63	公共施設	34
22年3月	22	59	公園・用水	32
22年6月	23	60	合計	988件
22年9月	22	59		
22年12月	22	66		
23年3月	22	60		
合計	368	988		
平均	23.0人	61.8件		

*198号までは「環境・上下水」



*構成比は四捨五入して表示